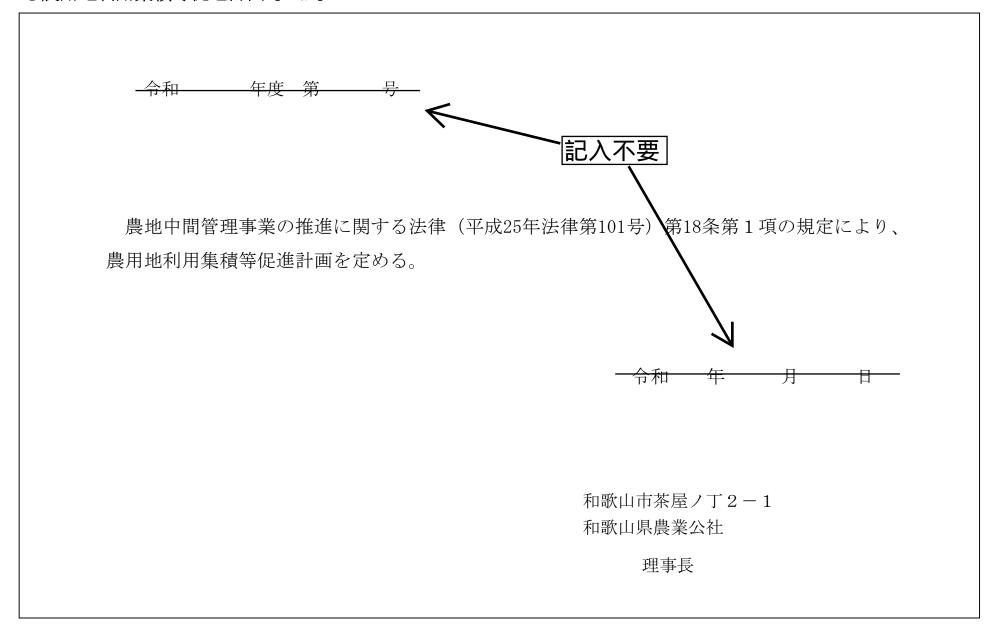
## ○農用地利用集積等促進計画【一括】



第1-1 賃借権又は使用貸借による権利の設定関係 【一括方式】

1 各筆明細

1 谷筆	明細							<del>-</del>	26年月日 行	<del>11 11</del>	月日
	権利を設定する者の氏名又 は名称及び住所 (甲)		貸手(所有者) 氏名				貸手(所有者) 住所				
整理番号	権利の設定を受ける者兼転 貸を行う者の氏名又は名称 及び住所 (乙)		(氏名又は名称) 公益財団法人 和歌山県農業公社 理事長 (氏名又は名称)				(住所) 和歌山市茶屋ノ丁2-1				
転貸を受ける者の氏名又は 名称及び住所 (丙)			借手(耕作者) 氏名					借手(耕作者) 住所			
	権利を設定する	設定する権					る権利 (B)	6権利 (B)			
	所 在	現況	面積	種類				存続期間 借賃 借賃の支払方法 (終期)			
市町村 大字 字 地番		地目	$(m^2)$	性類	内谷	炉炉	(終期)	(円)	信員の文仏方伝		
田辺市	000 000	00-0		_			記入不要			記入不要	
				/	71				1		
						\					
		登記簿 の面積	賃借料	イ が発生す 賃貸借	る場合		かん など る作物名	〇〇年間 (契約期間	ш —	年間〇〇〇	円 で、「賃貸借
	を記入)		─無料で貸借する場合			()	を選んだ場合のみ 				
				ξ	∶記入						

## (記載注意) (1)この各筆明細は、権利設定の当事者ごとに別葉とする。

- (2)(A)欄は、市町村大字別に記載する。
- (3)(A)欄の「面積」は、土地登記簿によるものとし、土地登記簿の地積が著しく事実と相違する場合、土地登記簿の面積がない場合及び土地改良事業による一時利用の指定を受けた土地の場合には実測面積を()書きで下段に2段書きする。また、1筆の一部について権利が設定される場合には、権利を設定する実測面積を()書きで下段に2段書きするとともに、当該部分を特定することのできる図面を添付する。
- (4)(B)欄の「種類」は、「賃借権」又は「使用貸借権」のいずれかを記載する。
- (5)(B)欄の「内容」は、賃借権の設定による当該土地の利用目的(例えば水田として利用、普通畑として利用、樹園地として利用、農業用施設用地(畜舎)として利用等)を記載する。
- (6)(B)欄の「存続期間(終期)」は、「○年」又は「○○年○○月○○日まで」と記載する。
- (7)(B)欄の「借賃」は、設定又は移転を受ける権利が賃借権である場合に、当該土地の1年分の借賃の額を記載する。
- (8)(B)欄の「借賃の支払方法」は、「口座振込」を原則とする。但しやむを得ない場合はこの限りではない。